自転車の通行ルールを守り交通事故をなくそう！

町では「自転車のまちづくり」を進めていますが、交通事故をなくすには、道路などの整備と同様に自転車に乗る人のマナーがたいせつです。

自転車事故の現状や、自転車事故をなくす対策として実施している町の取り組みを紹介します。

また、今年6月に改正された自転車の通行ルールの内容を今一度確認しましょう。

問 環境防災課 ☎84-0314

指導員の話に熱心に耳を傾けます

代表の子どもたちが町長から交付を受けました

子ども自転車運転免許講習を開催

6月20日(金)、開成小学校で4年生児童を対象に「子ども自転車運転免許講習」を開催しました。

この自転車運転免許講習は、昨年から実施しているもので、自転車に乗り始める小学生の年代から自転車の正しい乗り方やルール、マナーを徹底させることで、将来にわたって長期的な交通事故防止につなげることを目的にしています。

子どもたちは、まず、開成小学校グラウンドにつくられた模擬コースで松田警察署、県くらし安全指導員、町交通指導隊の指導を受け、実技講習を行いました。

ヘルメットをかぶると、「後方よし。右よし。左よし」と元気な声で確認し、安全運転でコースをまわりました。

次に場所を体育館に移し、学科テストを行いました。

事前に担任の先生から自転車に乗るときに守らなければならない正しい乗り方やルール、マナーを勉強したので、みごと全員が合格し、7月16日(水)、町長から「自転車運転免許証」の交付を受けました。

開成町の自転車事故は

開成町は、平坦(ひらたん)な地形で自転車を利用しやすい町ですが、全交通事故に占める自転車事故の割合が高い傾向にあります。全交通事故の発生件数は毎年減少しており、自転車事故の割合も平成19年中は、20・2パーセントと、かなり下がりましたが、さらに事故を減らすには、これからもみんなでルールやマナーを身につける必要があります。

今後も、乗り方教室や街頭指導、オートライト購入助成など、関係機関と協力しながら、自転車の利用しやすいまちづくりと交通事故防止に取り組んでいきます。

自転車オートライト購入助成事業実施中！

自転車の無灯火運転による交通事故を減らすため、自転車をこいだとき負荷がかからない前照灯（ライト）の取り付け費用の一部を助成しています。

- 取付費用　1台あたり3,500円
- 助成金額　1台あたり1,500円

詳しくは、環境防災課までお問い合わせください。

開成町における自転車事故件数の推移（松田警察署調べ）

年	全事故の件数	全事故に占める自転車事故の件数	割　合
平成16年中	105件	29件	27.6%
平成17年中	102件	27件	26.5%
平成18年中	85件	24件	28.2%
平成19年中	84件	17件	20.2%

※神奈川県内の平成19年中の平均割合は、22.3%

もう一度確認をお願いします。

正しいルールで安全に自転車を利用しましょう

広報かいせい7月号「駐在所だより」でもお知らせしましたが、6月から自転車の通行に関するルールが改正されています。あらためて詳細をお知らせします。

自転車の通行に関するルールの改正

1 自転車は「子どもや高齢者などが運転する場合」「車道通行が危険な場合」も歩道を通行できます。

道路標識等により歩道通行可とされている場合のほか

○13歳未満のこどもや70歳以上の高齢者または身体の不自由な人が自転車を運転するとき

○道路工事や自動車などの交通量が著しく多く、道路幅が狭いなどのため自動車などとの接触の危険がある場合など、車道または通行の状況に照らして、やむを得ないと認められるとき

※「自転車は車道通行が原則」であることに変わりはありません。

歩道は歩行者優先です。自転車で歩道を通行するときは、車道寄りを徐行し、歩行者には十分注意しましょう。

2 自転車は、歩行者用信号機がある横断歩道を乗ったまま通行できます。

※改正前は、歩行者用信号機がある横断歩道では、必ず自転車を降りて押して渡らなければなりませんでした。

3 13歳未満の子どもを自転車に乗車させるとき、保護者はヘルメットを着用させるよう努めなければなりません。

○児童、幼児に自転車を運転させるとき

○保護者などが補助いすなどで幼児を自転車に同乗させるとき

「自転車通行可」の標識のある道路

間違った乗り方や、ルールやマナーを無視した乗り方は重大な交通事故につながることもあります。

自転車の事故を減らすために自転車に乗るときは次のことに注意しましょう。

○交差点では必ず一時停止し、左右の安全を確認しましょう。
○暗くなったらライトをつけましょう。
○傘を差しての運転はやめましょう。
○右側走行はやめましょう。
○二人乗りや2台以上並んでの走行するのはやめましょう。

安全な乗り方・マナーを競いました 県大会で第3位・5位と大健闘！

7月5日(土)、横浜市文化体育館で第39回交通安全こども自転車神奈川県大会と第3回交通安全3世代ふれあい自転車神奈川県大会が開催されました。

開成町からも1チームずつ参加し、選手たちは、大会に向けて6月23日(月)から7月4日(金)までの10日間、町交通指導隊や駐在所の警察官から指導を受けて大会に臨み、学科テスト、安全走行テスト、技能走行テストを行いました。

「交通安全こども自転車神奈川県大会」第3位

交通安全こども自転車神奈川県大会には、神奈川県内の小学生23チームが参加し、開成町からは、昨年度の足柄上地区大会で優勝したチーム（6年生4人）が出場し、第3位に入りました。個人では、関さんが5位、小松さんが8位に入賞しました。

（出場選手）
秋山真也さん、小松大祥(ひろよし)さん、鈴木　翔さん、関　悠斗(ゆうと)さん

「交通安全3世代ふれあい自転車神奈川県大会」第5位

交通安全3世代ふれあい自転車神奈川県大会では、神奈川県内から8チームが参加し、開成町からは、こども世代・親世代・高齢者世代の3人が出場し、第5位に入りました。

（出場選手）
こども世代　井上実織(みおり)さん（6年生）
親世代　倉橋敏行さん
高齢者世代　中島聰光(としみつ)さん